

## 生駒市入退院調整状況調査結果報告（概要説明）

### I 調査概要

- 調査目的：平成 29 年度作成の「生駒市入退院調整マニュアル」運用 8 年後における現状、医療・介護連携の効果と課題を把握し、マニュアル見直しの基礎資料とする。
- 調査対象：市内病院（6ヶ所）、病院入退院調整担当者（28 人）、ケアマネジャー・地域包括支援センター職員（128 人）。
- 回収状況：病院（地域医療連携室）100.0%、病院（入退院調整担当者）28 人、介護側 128 人中 119 人（93.0%）。
- 実施時期：令和 8 年 1 月 23 日～2 月 6 日。
- 調査方法：調査票を郵便にて送付、FAX または持参等による回収。

### II ロジックモデル指標に関連する主な結果

#### 【指標区分】中間アウトカム指標（入院時の情報共有）

【該当設問】調査報告書 4（2）：入院時情報提供の方法

【今回値】68.3%（入院時情報提供書提出：84 件）【前回値】67.2%（運用 7 年後調査）

【コメント】運用 5 年後（61.6%）から継続的に上昇しており、入院時の情報提供体制は安定的に定着している。

#### 【指標区分】中間アウトカム指標（退院時の情報共有）

【該当設問】調査報告書 3（2）：退院調整の連絡の有無（病院から連絡があった割合）

【今回値】65.6%（82 件）【前回値】71.8%（運用 7 年後調査）

【コメント】病院側からの能動的な連絡が減少に転じている。

#### 【指標区分】ロジックモデル：初期アウトカム指標（普及啓発）

【該当設問】調査報告書 5（13）：人生会議（ACP）の認知度（「知っており、すでに取り組んでいる」と「知っており、説明ができる」の合計）

【今回値】61.3%（73 件）【前回値】68.1%（運用 7 年後調査）

【政策的示唆】認知度が低下している。

### III その他の主な結果

【設問】調査報告書 3（3）：退院の連絡時期

（当日までに連絡があったうち 3 日前時点の累計）

【今回値】75.7%（56 件）【前回値】69.5%（41 件：運用 7 年後調査）

【コメント】直近の連絡タイミングは改善傾向にあるが、市が目安とする 14 日前（13.5%）には届いていない。

【設問】困難事例（身寄りなし・認知症）への対応力強化 自由記述

【コメント】「身寄りのない高齢者の退院調整」や「BPSD が強い認知症患者の受入」に対する課題が多数指摘されている。